

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300406		
法人名	(有)ハートコネクト		
事業所名	グループホーム さくらの樹		
所在地	佐賀県鳥栖市弥生が丘4丁目22番		
自己評価作成日	平成30年11月12日	評価結果市町村受理日	平成31年1月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成30年11月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『皆さんと共につくる 楽しいわが家 明るい家族』を理念とし、いつも明るく笑顔が絶えない家庭的な施設を目指しています。自然と皆さんがリビングに集い、様々な場面でそれぞれの出番を作り、助け合いながらいきいきと生活されています。また、地域の皆様にも開かれた施設となる様にボランティアの方々、小学生、保育園との交流にも力を入れています。多くの地域の皆様にも施設の取り組みが紹介できるように、ホーム便りを回覧させて頂く様にもしています。ご希望に応じてターミナルケアも実施しており、人生の最期の支援に携われる事の重大さを胸に、ご家族、医療機関と連携してチームで支え安心して最期を迎えられるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

静かな新興住宅地に設立された、落ち着いた雰囲気のあるホームである。家族や友人、知人の面会も多く、幼稚園や小学校、ボランティアとの交流も盛んである。地域の回覧板にホームだよりを一緒に回覧したり、入居者とスタッフの一座を結成し活動したりと、地域へ開かれたホームを目指している。また、運営推進会議での提案を受けて、効果的な避難訓練を実施しようとする試みがある。高齢化社会を反映し、ターミナルケアをホームでとの家族からの要望の増加にホームでの看取り体制の充実を図っている。行政など関係機関との連絡体制も充実しており、状況の変化にもきちんに対応できるように努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『皆さんと共につくる 楽しいわが家 明るい家族』の理念をいつも目につく場所に掲げ、全体会議では全員で理念や運営方針を毎回唱和し、確認合っています。又、入職時も説明して理念に則したケアが出来るように努力しています。	玄関やリビングに掲示し、全体会議で唱和している。新入職員には説明を行い、理念を挟んだファイルを渡し、いつでも見られるようにしている。理念に即したケアができているか職員間で話し合うなど、理念の共有と実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お散歩がきっかけで野菜やお花のお裾わけを頂く関係が続いています。又、施設の行事、誕生日会には地域のボランティアの方々、保育園児、小学生が来訪下さり利用者様との交流も出来ています。	自治会に加入し、回覧板にホーム便りを入れてもらうなど、地域の方へホームのことを知っていただく機会となっている。また、地域の夏祭りに入居者が浴衣を着て参加したり、ホームのクリスマス会やお誕生会に保育園、多彩なボランティアが訪問したりと、盛んに交流している。最近、ホーム内で結成した入居者やスタッフによる一座も、地域との交流に活かせる活動となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の回覧版にホームだよりを入れてもらい、施設の説明や行事の紹介をする事で、施設を知ってもらう機会を積極的に作っています。又、運推を通して施設に関わって下さっている方から、地域の方々いろいろな説明の機会も設けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回の運推では、利用者様の現状や日々の生活の状況、行事の報告を行っています。資料は写真を多く使い分かりやすい内容を心掛けています。会議内容が少しマンネリ化しているのもう少し内容を検討していきたいと思えます。	運営会議では、区長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族等が参加している。会議資料は入居者の写真が多く盛り込まれており、ホームの状況報告がわかりやすく、意見交換しやすく、出た意見はできるだけ反映できるように努めている。会議内容の職員への周知は十分とはいえない。	議事録の回覧など、会議内容の職員周知に向けた取り組みに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課の担当の方とは、日頃から連絡を取り合い、少しの事でも相談出来る関係が出来、たくさんの助言も頂いています。	日頃から連絡や相談を行い、いつでも相談できる体制ができている。相談を重ねることにより問題の解決を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃から身体拘束について意識しながらケアに取り組んでいます。マニュアルも作成し、全職員で理解共有し、身体拘束につながりそうな場面があれば、随時又は会議内でも話し合うように努めています。	マニュアルを作成している。また、外部の研修にも積極的に参加しており、全体会議で伝達を行ったり、夜間対応職員にも資料を配布したりと、職員の理解を図っている。玄関施錠は行わず、言葉による行動制限についても、気になることは職員間で声を掛け合うなど配慮している。指針の整備はこれからである。	指針の作成など、書類整備に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加し全体会議で全職員にも伝える機会を作っています。日頃からもケアの内容に問題はないか等確認し、注意、話し合う機会を作っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加するなどして、知識を高めるように努めており、必要があれば利用する体制にしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明はゆっくり丁寧に行い、都度不安や疑問はないか確認しながら行うように心掛けています。料金改定についても文書と口頭で説明し納得を頂く様に努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会も多く、職員は日常的に会話を持つように努めています。信頼関係を作り、ご家族様に意見や要望を出しやすい雰囲気作りにも努めています。	家族の面会は定期的であり、入居者のホームでの様子や体調、服薬の変更など、早めに伝えることにより、話しやすい雰囲気をつくっている。出た意見はできるだけ反映するように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、毎月の全体会議、責任者会議を通して、職員からの意見や提案を受け取るように努め、早急に対応しています。又、意見を出しやすい環境にも努めています。	全職員が参加できる時間に会議を開き、意見を出しやすい雰囲気を作っている。日常業務の中でも意見を言いやすい雰囲気があり、職員からの意見をもとに浴室のリフトの購入したり、ケアや業務の見直しをするなど、意見の反映に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来るように出来る限り勤務希望に添えるように努めています。又、それぞれの特技を活かせるようなシフト体制や普段から様々な要望にも対応出来るように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日頃から職員同士で役割を決め資質向上に努めて、外部の研修参加の際は全体会議で報告して全職員で共有しています。又、外部研修も勤務扱いとし、研修に参加しやすい環境にもなっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に入会し、管理者同士で相談し合える関係も出来ています。又、勉強会研修会も積極的に参加し、後日全体会議で報告し、サービスの質の向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用開始までに可能な限りご本人にお会いして、お話を伺うように努めています。お話をしていく中で要望や不安な事も把握して利用開始がスムーズに出来るようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用の相談の段階で、ご家族の心配事や今後の不安などじっくりゆっくりお話を伺うように努め、ご利用がスムーズになる様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	最優先されるべき支援を早期に見極め対応する事を心掛けています。また、必要であれば他のサービスの情報の提供も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に本人本位のケアを心掛け、出来る部分は尊重し見守り、遠慮されない環境を作る事で暮らしを共にする関係が出来ています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも来訪しやすい、お話しやすい雰囲気作りを努め、職員との信頼関係も出来ています。また、ご家族さんにもランチやお花見外出、施設行事等に参加して頂き、共に支え合う関係も出来ています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室に通われたり、ご家族や知人の面会時は遠慮されない様に、お茶をしながらリビングや自室でゆっくり一緒に過ごして頂けるように努めています。	行きつけの美容院に通い、家族と共に法事に出かけるなど、馴染みの場所や人との関係継続を支援している。家族、知人など面会者にはゆっくりと自室やリビングで過ごしてもらっている。通院の帰途、馴染みの地に寄り道するなど関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や性格を把握して、いつも心地良い関係や支え合いが出来るように職員が介入するように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ボランティアで訪問して頂いたり、お野菜やお花、おやつのお返しを届けて下さったり、相談に立ち寄って下さったりと様々な形でお付き合いが続いています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	直接伺ったり日々の会話や表情、表出が困難な方については、今までの生活ぶりやご家族様にもお尋ねしてご本人本位に検討できるように努めています。	日常のケアの中で、入居者の意向を汲み取るようにしている。意思表示できない人には、生活歴や家族の話から関心のあるものを探り、職員間で情報を共有し意欲を引き出している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時にたくさんの情報を得られるように努め、利用者様が出来るだけ継続した生活が出来るようにしています。ご入居後しばらくは、細かい情報も自由欄に記録に残す事でさらにケアの統一にも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時系列式の個人記録で利用者様お一人お一人の1日の過ごし方や気持ちの変化まで把握できるように努め、日々のケアに活かせるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思いや近況を毎月のホーム便りで伝えたり、面会時にも具体的に伝えるように努めています。頂いた意見や要望は毎日の申し送りや全体会議で話し合い、介護計画に反映しています。	家族の意向や、受診時の主治医のコメント、職員の意見を聞き取り、毎月モニタリングを実施し、定期的な更新のほかに、変化があれば、その都度、変更するなど、状況に即した介護計画づくりに努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にはその日の勤務者全員が利用者様それぞれのケアプランに沿った記録や気づきを残すように努めています。毎日の申し送りで情報の共有にも努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状態の変化や様々なニーズに柔軟に対応出来るように、職員の配置に余裕を持たせ、多方面のサービスも利用できるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の知人、友人、町内の保育園、小学校、近隣のボランティアの方々、医療機関等、多方面からの訪問支援を頂き、交流していく中で、利用者様も生き活きと生活されています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人ご家族の希望により以前からのかかりつけ医の診察を受けている方もおられます。又、かかりつけ医と利用者様ご家族、事業所との関係も一方的ではなく、いつでも相談出来る体制を作っています。	かかりつけ医を継続することができる。他科受診を含め受診は家族が行うが、情報提供書を家族に持って行ってもらうなど、医療機関との情報共有するための工夫もしている。また、協力医療機関は24時間体制であり、かかりつけ医を継続している入居者も、緊急時は対応可能な体制をとっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職も介護職と同じ業務を行う中で早期に細かな情報が得られたり、いつでも介護職と相談、話し合う機会が出来るようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来る限り職員が面会をする事で入院中の不安を少しでも軽減できるようにしています。また、入院中も医師、ソーシャルワーカーの方々と細やかに連携して、早期退院に向けて努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時に重度化や終末期について施設で対応可能な事柄を説明、ご本人ご家族の現時点の意向まで確認させて頂いています。終末期には安心して迎えられるように日々変化する状態にもチームで話し合い、向きあいながら支援しています。	入居時に説明を行い、食欲が落ちてきた時等、状況の変化に応じて、家族や主治医、看護師、職員等で話し合いを重ね対応している。夜間勤務の看護師がおり、家族の泊まり込みも可能であり、家族的な雰囲気の中で看取りたいとホームでの看取りを希望する家族が多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命救急士による心肺蘇生術の講習を受けています。マニュアルも常時確認出来るように準備しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署、消防設備関係の方の立ち合いの元、消防訓練を行っています。他の災害についてもマニュアルを作成しています。地域の協力を得られるように区長さん近隣の方にも訓練にご参加頂いてアドバイスなども頂いています。	年2回、夜間想定避難訓練を運営推進会議と併せて実施しており、地域の代表者も参加しやすい。また、火災とその他災害を想定したマニュアルを作成しており、避難場所、避難経路、近隣住民の連絡先などの情報は、リビングに置いている。入居者の持ち出し袋や首から下げる名札を準備し、安否確認のため部屋退出時に枕を入りに落とすなど、確認しやすい工夫をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ゆっくりと丁寧な言葉掛けで優しい雰囲気となる様に努めています。様々な場面で尊厳を持った対応が出来るように全職員で話し合う機会も作っています。	思いやりのひとこと「介護するあなたへ」をテキストに、入居者への尊厳の保持、言葉遣い、プライバシーの尊重について考える機会を設けている。入浴やトイレの時にも露出を控えたり、扉を閉めるなど、プライバシーにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の何気ない会話や表情からご本人の思いを知る様に努めています。又、遠慮されないように利用者様が思いを伝えやすいような雰囲気作りにも心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはありますが、お1人お1人の生活ペースを尊重して個別ケアを心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な訪問美容ではカットだけでなくご本人の希望に応じて、パーマやカラーリングも対応しています。衣類は出来るだけご本人に選んで頂いたり、化粧水なども希望に応じてつけて頂くよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の能力に応じて役割分担が出来ており、ご本人の励みにもなっています。綺麗な器を使い、職員も介助に入りながら、同じ食事を摂る事で楽しい食事の時間となっています。	写真付きの1年間の献立表をもとに、料理を提供している。近隣などからの野菜の差し入れがあったときは、献立を変更するなど臨機応変に対応している。また、入居者は皮むきや配膳、食器拭き等できることを手伝っており、食事職員と一緒に摂りなど、和やかな雰囲気である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量はチェック表で管理し、医師にも報告し、利用者様の状態把握に努めています。又、食事形態も嚥下状態や認知状態に応じてミキサー食トロミ食も対応しています。ポカリや栄養補助食品の利用もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師、歯科助手とも連携して利用者様に応じた口腔ケアを毎食後行っています。義歯も曜日を決めて、洗浄液に浸漬して清潔保持にも努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を基に個人個人の排泄パターンを把握して早目の誘導を支援しています。又、日中はトイレでの排泄が出来るようにスタッフ2名での排泄介助も工夫して行っています。	排泄チェック表や排泄サインから入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけトイレでの排泄できるように支援している。必要に応じて2名介助をするなど、トイレでの排泄ができるように努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事には旬の野菜や繊維質の多い食材を取り入れています。テーブルにはご本人用の水筒を準備していつでも飲んで頂けるようにし、自然排便が出来るように努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の体調や気分に応じて入浴して頂いており、毎日少人数ずつの入浴で、ゆっくり職員と1対1で会話をしながらの入浴を楽しんで頂いています。	週3回入浴している。半数ずつ入るため毎日お風呂が沸いており、体調や希望に応じて入浴することができる。入浴の苦手な入居者には、声かけや対応する者の交代、日時変更など工夫をしている。また、会話を楽しむなど、ゆっくり過ごせるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の状態に応じて夜間の睡眠に支障の無い程度で、個別に臥床時間を作り、休息して頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は職員2名で呼称し合い、管理表に服用チェックをして誤薬飲み忘れの無いように努めています。また、薬剤情報はいつでも確認出来るように個別にファイル管理し、臨時薬や質問事項もあれば薬剤師の訪問時に確認するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味や生活歴、能力を把握して、場面場面で出番を作る様にしています。出来ない方もその場所で雰囲気味わって頂く等、工夫して支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的にサンデッキのお散歩や日光浴を楽しんで頂いています。外出も利用者様の体調に応じてお花見、ランチの外出を支援しています。その際にはご家族も一緒に参加して頂き、利用者様の楽しみの一つにもなっています。	季節の花見やランチにも出かけており、その際、家族への参加も呼び掛けて喜ばれている。さらに、近所の散歩や、ホームの周囲のウッドデッキで日光浴やお茶を楽しみ、できるだけ外気に触れるようにするなど、日常的に戸外で出る取組みを行っている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人ご家族と相談の上、少額のお金を持っておられる方がいらっしゃいます。現在使用する機会はなかなかありませんが、今後ランチ外出時に使用する機会を設けてみたいと思います。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年の年賀状のやりとりや可能な方は電話で近況をお話され継続した関係が続くように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な環境づくりを心掛けています。リビングにつながるキッチンからは調理中の音や匂いから生活感を味わって頂き、自然とキッチン周りで会話も生まれています。また近隣の方々やご家族様からも季節の花々を頂いたり、毎月の製作や壁飾りでも季節感を味わって頂いています。	入居者が集うリビングはキッチンと続いており、調理の準備から出来上がるまでの音や匂いが自然と伝わり、生活感を醸し出している。テーブルの上には季節の花を飾っており、壁や天井からの吊り下げ式の飾りは入居者の手作りで季節感にあふれている。こまめに換気するなど快適な環境づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内でもテーブル、キッチン前、ソファ、和室等それぞれで居場所が出来ています。また、状況においては、食事の席も柔軟に対応出来るようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのたんすや整理棚、写真、置き物、使い慣れた椅子、テーブル、鏡、布団等、持参して頂いており、ご本人ご家族と相談しながらご本人が居心地良く生活される様に努めています。	馴染みの物を自由に持ち込むことができ、壁には絵や家族の写真を飾るなど、思い思いの居室となっている。また、本人・家族と相談しながら、自宅に近い配置や、安全に配慮した配置をするなど、居心地よい空間づくりを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は安全に自立した生活が出来るように遠目で見守りが出来る造りとなっています。居室内でトイレを探される方には目につきやすいように矢印とトイレのイラストで場所を説明したり、目でも分かる様に工夫しています。キッチンも自然とお手伝いが出来る様な配置にしています。		